



TWINS登録時に間違えないこと 研究プロジェクト: 博士後期課程 特別プロジェクト: 博士前期課程

システム開発型研究プロジェクト

• 趣旨

研究代表者は、学生を主体としたグループを形成し、計画立案(予算獲得)・実行・現状の把握・成果報告等を模擬的に行い、研究者としてのプロジェクト管理等について実践的に学ぶ.

• 予算

2006年度実績(実施件数12件): 50万円/課題,及び30万円/課題

• 応募資格

研究代表者としての応募資格は、コンピュータサイエンス専攻に所属する博士後期課程の学生とする。グループメンバとしての参加は、博士後期過程・博士前期課程及び情報学類・情報科学類生の何れの学生も可能である。連続した年度での申請は妨げないが、同年度に複数申請を行うことはできない。

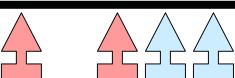
07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
						•				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
	^	۸ ۸				^				

中間成果報告



申請受付の開始申請受付の締切

07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
4	5	6	7	8	9	10	11	12	08 1	2



申請受付の開始

申請受付の締切採択通知

中間成果報告

プロジェクトの申請(4月~5月)

- 申請は研究代表者(博士後期課程)のみが行える。
- アドバイザ教員に必ず許可を得ること。
- 申請期間は,4月中旬~5月下旬とする.
- 募集要項・申請フォーマット・諸注意などの詳細は、 http://www.cs.tsukuba.ac.jp/lecture/syspro/ にあるので確認すること.

【アトハイザ教員】: 研究代表者かプロジェクトを実施する際に、そのプロジェクトに関することで、色々と指導してくれる教員. 研究室の指導教員でなくても構わない.

07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
	٨	Λ Λ				Λ				



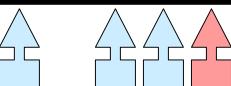
申請受付の開始申請受付の締切

中間成果報告

採択・不採択に関して(5月~6月)

- 専攻内の教員数名からなる委員会を開き,申請書類について審査を行う.審査結果及び申請状況によっては2次選考(面接)を行う予定である.
- 審査結果は各代表者に連絡される. 連絡予定日は5月下旬~6月上旬とする. このときに, 審査結果の内容及び予算等について連絡を行う.
- 履修登録申請は採択後にTWINSで行う。

07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
						•				
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
^	٨	Λ Α				٨				^



申請受付の締切採択通知

申請受付の開始

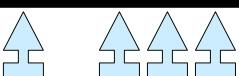
中間成果報告

プロジェクトの実施(6月~翌年2月)

- 採択が決定し履修申請を行ったグループからプロジェクト(システム開発)を実施する.
- プロジェクトに要する時間は、研究代表者の裁量に一任し、アドバイザ教員は基本的に指導しないものとする.
- 研究予算の執行はアドバイザ教員を通じて行い、 予算を超過した発注は認めない. 超過した分に ついては支払いを行わないので注意すること.
- 20万円を超えるものについても購入することができないのでこれについても注意すること.
- 旅費等については基本的に認めない.

07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
•	•		•	•		•	-	•	•	-
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2

中間成果報告



申請受付の開始申請受付の締切

中間成果報告(9~10月頃)

- 後期予算を決定するための報告会である.
- 内容は、研究グループによるポスター発表とする。
- 一般公開とする予定である.
- 本報告会での評価は、外部審査委員も含む評価 委員会によって判断される。
- 中間成果報告の結果より予算を追加配分する.
- 研究計画書で5割,中間成果報告で残りの5割を配分予定である.最初の配分予算が少なくても中間成果報告の結果によっては追加配分/減額がありえるので計画性を持って進めること.

07	07	07	07	07	07	07	07	07	08	08
			•							
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2



申請受付の開始申請受付の締切

中間成果報告

最終成果報告(翌年2月)

- 単位を決定するための報告会(一般公開)である
- 内容は、システムのデモ展示とポスター発表である。
- 本報告会での成績評価は、外部審査委員も含む評価 委員会によって判断される。
- 予算額と単位は独立に評価する. あくまでも、中間・最終報告会より単位が判定される.
- システム開発報告として、8ページの研究成果報告(研究会論文相当)を提出しなければならない. これは、CS専攻テクニカルレポートとして冊子化及び電子公開される.

その他

- 詳細は、「システム開発型~」のWebページ http://www.cs.tsukuba.ac.jp/lecture/syspro/ にあるので、まずはこれを参考にすること
- 質問・意見等については、
 d-gp-syspro@cs.tsukuba.ac.jp
 で受け付ける。このアドレス宛に連絡すること。